



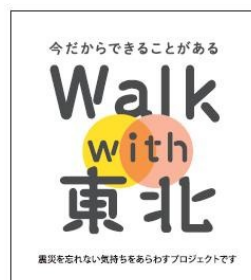
## かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

### 【 2016年度(H28)活動報告 】

《2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画》

2016年4月1日

(更新：2016年6月1日 v1.3)





## 目次

I. 当会について .....	3
1. 設立趣旨書 .....	4
2. 活動内容 .....	5
3. 活動方針 .....	6
4. 活動実績 .....	7
5. 組織概要 .....	9
6. 会員制度 .....	9
7. 団体登録先・情報登録先 .....	10
8. ご寄付 .....	10
9. 当会運営 .....	11
II. 2015 年度活動実績（平成 27 年度） .....	12
1. 福島の課題 .....	12
2. 活動方針 .....	13
3. 活動目的 .....	13
4. 全体事業実績（概要） .....	14
5. 事業実績詳細 .....	15
(1) 事業 1 ボラバス .....	15
(2) 事業 2 仮設訪問 .....	16
(3) 事業 3 視察研修 .....	17
(4) 事業 4 県内支援 .....	18
(5) 事業 5 講演会 .....	19
(6) 事業 6 市民活動 .....	20
(7) 維持管理 .....	21
(8) 事業会計実績 .....	22
6. 役員・スタッフ .....	25
7. 各便の参加者状況 .....	25



8. 平成 27 年度 (2015 年度) 総括.....	26
<b>Ⅲ. 2016 年度活動計画 (平成 28 年度) .....</b>	<b>27</b>
1. 福島 of 課題.....	27
2. 活動方針.....	27
3. 活動目的.....	27
4. 全体事業計画 (概要) .....	28
5. 事業詳細.....	30
(1) 事業 1 : 現地活動 (ボランティアバス) .....	30
(2) 事業 2 : 現地活動 (ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動) .....	31
(3) 事業 3 : 県内活動 (他団体との連携による避難者支援) .....	32
(4) 事業 4 : 県内活動 (広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席) .....	33
(5) 事業 5 : 情報発信 (視察研修) .....	34
(6) 事業 6 : 情報発信 (講演会等) .....	35
(7) 事業 7 : 情報発信 (イベント出展等を通じた情報発信) .....	36
(8) 事業 8 : 情報発信 (ホームページを通じた情報発信) .....	37
(9) 事業 9 : 災害復旧支援 (国内での災害発生時の緊急対応) .....	38
(10) 事業 10 : 維持管理 (現地訪問、打ち合わせ等) .....	39
(11) 事業合計.....	40
6. 役員・スタッフ.....	43
7. 最後に.....	44
<b>Ⅲ. 補足資料.....</b>	<b>45</b>
1. 活動の様子 (詳細) .....	45
2. 活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更もあります。) .....	46
3. 更新履歴.....	47



## I. 当会について

当会は、ボランティアとして2011年5月より岩手県に3分の1、宮城県に3分の1、そして福島には個人で3分の1として福島応援の活動を進め、2011年10月より福島応援隊として有志の応援をいただき活動をさらに一歩前に進め、2012年1月11日に“kfop”を設立しました。

活動に当たっては、設立前の約半年間、福島にボランティアバスを出すべく、事前準備を進めましたが、福島へバスをなかなか出していただけられない現実、ボランティアバスを出すことへの理解がなかなか得られない現実、活動に理解がなかなか得られない現実がありました。そんな環境の中、バスは横浜の『シティアkses株式会社』様に出していただきました。活動先はスタッフ含め現地に赴き、受入れ調整をさせていただきました。

設立当初の2012年度の主な活動としては

### ①現地活動

- ・福島市の福島市社会福祉協議会募集のボランティア（渡利地区、大波地区）。
- ・福島市の任意団体の復興応援活動（借上住宅・近隣にお住まいの皆様、応急仮設住宅に）。
- ・南相馬市の鹿島区社会福祉協議会募集による小高区での屋外活動（山側、海側、街中）。
- ・南会津での大熊町の子供たちを対象とするイベント支援活動。
- ・最終の福島12便は、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」、で活動。

### ②県内活動（神奈川県内での活動）

- ・神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様へのお手伝い、避難されている方々の気持ちは私達には充分には分からないかも知れませんが、少しでも近づければ、との気持ちで。
- ・かながわ東日本大震災県内避難者支援ネットワークに協力し、弁護士よろず相談会。
- ・同、町別（浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、大熊町）交流会。
- ・同、また共催し「ふるさとコミュニティinかながわ」の県内全体の交流会。  
など、活動および協力ができました。

### ③当会の応援者は

2012年1月末時点で48名、2013年3月末に置いては167名（内会員は119名）と多くの方に応援をいただくことができました。2016年4月末の登録メンバーは278名。

2012年度から、2015年度までの活動履歴は当会HPに掲載しています。

2016年度も継続し、福島の応援を続けていく。

ご参加いただきました皆様、応援をいただきました皆様、寄付をいただきました皆様、支援金をいただきました皆様、そして私達を受入れてくださいました現地の皆様、交流会にお越しいただきました避難されている皆様（県外からもお越しいただきました）、同じく交流会にご協力をいただきました行政の皆様、に感謝いたします。

かながわ「福島応援」プロジェクト  
代表 渡辺孝彦



## 1. 設立趣旨書

### (1) 趣 旨

2011 年 3 月 11 日に地震と津波による被害を受けた東京電力第一原子力発電所では、全電源を喪失して原子炉の冷却ができなくなり、大量の放射性物質放出を伴う重大な原子力事故に発展した。これにより浜通り地域を中心に、周辺地帯の住民は長期の避難と、福島県の住民へのいわれなき差別、いじめ、風評被害、観光の打撃と、今現在においても大きな苦難を強いられています。

かながわの「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」では岩手県・宮城県に向けて活発な支援が続けられていますが、福島県への支援は今なお実現していません。また、福島県は今もなお復旧に至らず、復興ままならない状況下にあります。

その中、福島県に住んでいる方々、福島県から避難される方それぞれの方へ応援をしたい。神奈川県から「福島を応援する」その主旨で、かながわ「福島応援」プロジェクトを設立するものです。

### (2) 活 動

- ①直接活動（家屋内外の片付け、街中掃除、仮設訪問、子供たち支援等をしていきたい）
- ②県内支援（神奈川県内、関東圏に避難されている方へのお手伝い）※<sup>1</sup>
- ③情報発信（福島県での活動、観光情報、温泉情報、特産物情報、など発信したい）
- ④災害復旧支援（地域を特定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生したとき、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。）※<sup>2</sup>

を行い、今までと同じように笑顔があふれ、子供たちも楽しく・のびのびと遊んでいる福島県であることを願い活動を展開し、また、神奈川県から応援の輪を広げるために、多くの方の参加者を募り活動していきたい。

※1：②の県内支援活動は設立当初はなく、私達は現地福島に直接行きお手伝いする、神奈川県内に避難されている方のことは神奈川県に住む方で応援してほしい。その思いでありましたが、県内での応援もまだまだ十分ではなく、必要、と感じ活動を追加したものです。

※2：④の災害復旧支援は平成 27 年台風第 18 号を受け 2016 年度に明確化した。

### (3) 経 緯

- ①2011.10.11 ボラステ※<sup>3</sup>のボランティア活動と平行して活動を開始（発起）
- ②2011.10.29 ボラステのボラバスチームメンバー参加により福島市ボランティア参加
- ③2011.12.28 スタッフ含めた参加者の募集、本格設立へ行動（36 人が賛同）
- ④2012.01.09 初会合（賛同出席者 16 名）
- ⑤2012.01.11 設立日とする。

※3：ボラステとは「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」のこと。

2011.10.11

かながわ「福島応援」プロジェクト  
設立代表 渡辺 孝彦

## 2. 活動内容

かながわから福島を応援します。

任意団体として、直接活動、情報発信とできることを少しずつでも進めます。

### (1) 現地活動

福島県から避難される方、避難されている方、福島県に住む方の支援を現地で直接行う。他団体へ参加、連携を含めて福島復興、元気につながる活動を行う。

- ①県民が生活される場の街中掃除等ボランティア活動
- ②仮設住宅に住まわれている方へのボランティア活動
- ③学校、子供さん、妊婦さん達へのボランティア活動 など。

### (2) 県内活動

神奈川県及び近郊に避難されています方の交流会、お手伝い。及び被災地自治体、団体・神奈川県内の自治体、団体との繋ぎ手として支える活動を行う。

### (3) 情報発信

福島県でのボランティア活動、観光情報、温泉情報、特産品情報など「現地活動」「視察研修」「講演会」「美味しいふくしま伝え隊」などを通して福島の元気に、笑顔につながる情報を発信する。

### (4) 災害復旧支援

地域を特定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生した際には、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。

そして、今までと同じ様に笑顔があふれ、子供たちも楽しく・伸び伸びと遊んでいる福島であることを願います。

さらに、神奈川から支援の輪が広がり、多くの方に福島を訪れていただけることを願います。



### 3. 活動方針

#### (1) 長期的方針

私たちは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故によりいまだ大きな苦難の中にある福島を長期にわたって応援し続けるために、持続可能な事業計画と予算計画を立てて団体としての活動を維持します。

いずれの活動についても、当事者の方々が必要とする支援や環境は時間とともに変化します。特に相双地域では今後数年以内に避難区域の解除が進み、さまざまな課題が発生してくると見られます。そうした変化を把握し、柔軟に対応できる体制、予算的な余裕、他団体とのつながりも必要です。

その一貫として、現地の状況を把握するための情報収集、現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問や会議への参加も積極的に行います。

同時に、神奈川をベースとしながら長期的に現地に関わっていける連携先も模索していきます。

#### (2) 当会は、粛々と活動を行っていきます。

何が無くても福島に行く、その心づもりが基本となります。

- ・福島への復旧・復興を願う。
- ・福島への観光・温泉・果物・農産物などの応援をする。
- ・福島の子供たち、避難を余儀なくされている皆様に少しでも応援になることをする（重きを置くこと）。

#### (3) 福島への活動においては、ご家族の理解も得て行う。

#### (4) また、スタッフ、参加者ともに無理はしない

- ・できる事を
- ・できる時に
- ・できる範囲で

#### (5) 活動の全て

- ・kfop 日程表、プロフィール、活動内容、設立趣旨、本会規約、事業計画、活動履歴
- ・会員募集、ご寄付、会計（事業会計・会計報告）
- ・ボランティア募集情報
- ・活動様子

など、全ての情報を、当会のHPで公開する。

長く福島への応援を続けることができるためにも。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

4. 活動実績

(1) 現地活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2011年度	福島市大波地区ボランティア	6回	29名
2012年度	福島市渡利地区ボランティアバス	3回	57名
	福島市復興応援ボランティアバス	6回	155名
	南相馬市小高区ボランティアバス	2回	67名
	会津若松市(大熊町)ボランティア	1回	6名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	1回	22名
2013年度	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	23名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	10回	130名
	静岡県西伊豆町水害ボランティアバス	2回	21名
	南相馬市小高区ボランティアバス	6回	99名
2014年度	福島市渡利「花見山公園」花見バス	1回	17名
	福島市「花に願いを」ボランティアバス	2回	4名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	159名
	福島県内応急仮設住宅等訪問	4回	5名
2015年度	視察研修便(富岡町、大熊町)	2回	37名
	南相馬市小高区ボランティアバス	10回	160名
	川内村訪問・支援活動	1回	6名
	現地自治体等訪問(現地訪問)除く講演依頼等	1回	2名
	双葉郡未来会議	1回	2名
合計		70回	1,002名
2016年度 (計画)	南相馬市小高区ボランティアバス	9回	171名
	視察研修便(双葉町、浪江町)	2回	40名
	その他現地活動	4回	48名
	災害復旧支援(発生時)	1回	20名
	現地自治体等訪問(維持管理)除く講演依頼等	3回	6名





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
《2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画》

(2) 県内活動

年度	活動先	実施回数	参加者数
2012年度	第1回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	協力
	第2回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・”しゃべりば”・弁護士相談会	22回	協力
2013年度	第3回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第4回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会	12回	協力
2014年度	第5回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	第6回「ふるさとコミュニティ in かながわ」	1回	共催
	町別交流懇談会・お茶っこ会等	20回	協力
2015年度	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会	各回	各人
2016年度 (計画)	特定非営利法人かながわ避難者と共にあゆむ会 (共催・協力の申し出中)	各回	各人

(3) 情報発信

ホームページ (<http://kfop.jimdo.com/>)、会員向けメーリングリストで福島情報を発信中



## 5. 組織概要

	会議体	目的
(1)	総会	総会は年1回開催。 役員・正会員にて、活動報告、活動計画などの運営を決議する。
(2)	定例会	定例会は都度開催。開催日は定例会で決め議事録とする。
(3)	臨時総会 臨時定例会	臨時総会、臨時定例会は役員が必要と認めたとき、代表が招集する。

(前提) 全てにおいて、一般会員、賛助会員、その他登録会員の参加を妨げない。

## 6. 会員制度

	会員項目	役割	年会費
(1)	正会員	入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。正会員より総会にて役員を選出する。	2,000 円/1 口以上
(2)	一般会員	正会員以外で本会の活動を支援する会員とする。	なし
(3)	賛助会員	財政支援の個人・団体の会員とする。入会時、および次年度以降は年1回、会費を納入しなければならない。	1,000 円/1 口以上
(4)	登録メンバー	情報発信の為に、過去活動参加された方など、当会のMLに登録されている方。	なし

①会員、登録メンバーは当会のMLに登録のうえ情報を発信させていただきます。

②正会員会費は2016年度に2,000円／一口以上とした。

③会員番号 kfx9999

k	Kanagawa
F	Fukushima
X	0 : 正会員 (A : 内福島応援隊)、1 : 一般会員、3 賛助館員、9 登録メンバー
999	一連番号 (001~999)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

7. 団体登録先・情報登録先

登録先	登録内容・登録日等
かながわ県民活動サポートセンター	利用団体 (2012. 01. 27 登録)
特定非営利法人 かながわ避難者と共にあゆむ会	正会員 (2016. 05. 10 更新)
NPO法人 ボランティアインフォ	ボランティア情報登録 (都度)
東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)	会員団体 (2016. 02. 19 申請)
ふくしま連携復興センター	準会員 (2016. 02. 29 承認)
CANPAN FIELDS (団体 ID : 1032639997)	団体登録 (2016. 06. 01 登録)

8. ご寄付

寄付専用口座を持ち、HP掲載にて広く一般からの寄付（寄付・支援金・助成金）を受け入れる。ご寄付・支援金・助成金は、全てHPに掲載し、その使途も全て会計のHPに掲載する。

《ご寄付・支援金等実績》

年度	項目	金額	ご寄付・支援元
2012 年度	寄付	403,822 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	助成金（寄付）	300,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
2013 年度	寄付	472,571 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	300,000 円	リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様
	助成金（寄付）	500,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス神奈川(株)端数倶楽部 様 富士ゼロックス神奈川株式会社様（マッチング制度）
2014 年度	寄付	253,545 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	助成金（寄付）	200,000 円	一般財団法人 神奈川県建築安全協会 様
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
2015 年度	寄付	604,461 円	一般の方からの寄付（お名前はHP掲載）
	支援金（寄付）	200,000 円	azbil みつばち倶楽部 様 アズビル株式会社 様（マッチング制度）
	支援金（寄付）	100,000 円	富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部 様 富士ゼロックス株式会社 様（マッチング制度）



## 9. 当会運営

### (1) 定例会・管理事項等

定期開催	かながわ県民センター	11F 会議室など
議事録	議事録作成・管理	電子ファイルで保管
会計監査	年度末に内部会計監査実施	
寄付・寄贈	HPですべて掲載	ご寄付のページ
会計	HPですべて掲載	会計報告のページ

### (2) 安全対策など

ボランティア活動保険	活動参加者の加入を確認	参加申し込み時
行事保険	行事实施時に加入	必要都度加入
活動マニュアル	活動場所毎に作成	電子ファイルで保管
行程表	活動・バス行程表を都度作成	電子ファイルで保管
仮眠所	バス運転手仮眠所確保	各、現地で確保

### (3) 教育関係（自主受講済み事項、ボランティアの一部スキル）

環境省 水・大気環境局除染等業務に係る特別教育	渡辺孝彦、戸沢正弘、村上幸
除染等業務作業指揮者教育	戸沢正弘、村上幸
労働安全衛生法による安全衛生教育 (刈払機)	渡辺孝彦、戸沢正弘、東尚子、村上幸、私市慎治
労働安全衛生法による特別教育 (伐木：チェーンソー)	渡辺孝彦、戸沢正弘、村上幸
赤十字救急法 救急員	東尚子、村上幸
横浜市消防局上級救命講習終了	戸沢正弘
労働安全衛生法による特別教育修了 (小型車両系建設機械)	村上 幸(2014. 05. 25 追加) 戸沢正弘(2014. 08. 14 追加) 私市慎治(2015. 08. 23 取得)
防災士 (NPO 日本防災士機構)	戸沢正弘(2015. 03. 19 追加) 東 尚子(2015. 03. 19 追加) 村上 幸(2015. 12. 25 追加)

(注) 掲載は一部 (抜粋)

### (4) 保有備品（個人保有を除く）

TERRA-P	4台(購入)(活動時の計測管理)	参加者用
TERRA-N	6台(購入)(活動時の計測管理)	参加者用
メディキタスCK-6	9台(寄贈)(活動時の積算管理)	参加者用

(注) 活動参加時の計測、積算を記録します。



## II. 2015年度活動実績(平成27年度)

### 1. 福島の記事

東日本大震災から丸4年が経過、課題の変化はあるが、本質は変わっていない。  
復旧・復興、まだまだこれからであり、この先も厳しい状況は続くものと思われる。

#### (1) 現地活動

現地は、発災から5年目、避難指示解除準備区域などの解除の動きが出てくる。  
南相馬市小高区もその一つであり、4年住むことのできなかつた家々は傷み、その家屋  
などの片付けなどはまだまだ行き届いていない、是非も色々あるが、要望もある。  
私達は、純粋なボランティアとして、次への一歩への僅かなお手伝いをしていく。

【課題1】

応急仮設住宅もまた広域避難者も復興住宅・避難指示解除準備区域の解除の動きと合わ  
せて歪が出てくる。応急仮設住宅・復興住宅と関わり続ける。

【課題2】

活動のみならず、現地を視察・研修する形で地元の方の話、被災地のその時、今、これ  
からも知り、伝えることは重要である。視察研修を実施する。

【課題3】

#### (2) 県内支援

神奈川県には4千人を超える避難者の方が居る、自主避難・未登録の方を含めるとさら  
に多いものと思う、未だに誰がどこに居るのかが分からない方が多い、避難者自らのコミ  
ュニティ作りを応援し、情報が集約(受け・発信)でき、ふるさととも繋がり、明るい生  
活、時には課題への取り組みなど、当事者の方々の応援を続ける。

【課題4】

#### (3) 情報発信

HPで活動の様子を伝えているが、ほんの僅かな発信でしかない、地元の方をお呼びし、  
地元のことを伝える、神奈川の方に参加して聞いていただく、など、さらに発展する必要  
がある。講演会などの開催を進める。

【課題5】

機会があれば、かながわ県民活動サポートセンターで実施される市民活動フェアなどを  
通して、当会自身の活動紹介も少しではあるが伝えていく。

【課題6】

#### (4) 維持管理

最後に、当会の維持、地元との繋がり維持として、現地の訪問(行政・社協・地域の  
団体)も継続する。

【課題7】

## 2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断（安全判断）
- ・活動する上で必要とする知識（安全知識）
- ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換（安全の担保）

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動の為のニーズ作りは行わない。ただし、現地との関わりは長く続けていきたい。

## 3. 活動目的

### （1）現地活動

- ①家屋の片付けまだまだ行き届いていない、純粋なボランティアとしてお手伝いする。
- ②応急仮設住宅・復興住宅と関わり続ける。関わることにより見える現実がある。
- ③活動のみならず、現地を視察・研修する形で地元の方の話、被災地のその時、今、これから知り、神奈川に伝えていく。

### （2）県内支援

避難者自らのコミュニティ作りを応援し、情報が集約（受け・発信）でき、明るい生活、課題への取り組みなど、当事者の方々の応援を続ける。

### （3）情報発信

- ①地元の方をお呼びし、地元の言葉で、講演会により伝える。
- ②当会自身の活動の紹介の機会もあれば、紹介していく。

### （4）維持管理

現地を訪問（行政・社協・地元の団体）し、繋がりを維持する。



#### 4. 全体事業実績 (概要)

福島への応援事業「直接活動・県内支援・情報発信」とし、以下の活動(事業詳細)を行った。新しく①視察研修、②美味しいふくしま伝え隊、③講演会、④市民活動フェアを実現出来た。

事業詳細		上段：計画 / 下段：実績 (詳細は各事業で説明)	
1. 現地活動			
(1)	事業1 (ボラバス)	計画	毎月1便(除く1月)、参加者(定員)18名 南相馬市小高区の屋外活動を継続し実施する。
		実績	○概ね計画通り実施した(10便実施)。7月便：相馬野馬追と重なり欠便。10月便は参加者11人で自家用車3台の相乗り便とした。
(2)	事業2 (仮設訪問)	計画	年に4回程、参加者8名程 浪江町、飯舘町の50人規模の応急仮設住宅の訪問を実施する。
		実績	△計画未達(2回訪問)。現地調整、目的等課題。 7月：福島市、本宮の仮設、10月：川内村訪問を実施した。
(3)	事業3 (視察研修)	計画	年に2回、参加者20名程 正会員を対象として実施する。
		実績	◎計画通り実施した。報告書も作成しフィードバックした。 4月：富岡町視察研修、10月：大熊町視察研修。
2. 県内支援			
(1)	事業4 (県内支援)	計画	あゆむ会に協力し継続。(当事者ネットワーク・支援ネットワーク) 地域ネットワークとして独自活動も進める。
		実績	×計画不詳。実施日のkfop活動日程日との重複。目的とすべき課題への取り組み。事業連携意識の向上等、課題がある。
3. 情報発信			
(1)	事業5 (講演会)	計画	年に2回、参加者40名程 福島の方をお呼びし、現地状況の話を聞く・交流する。
		実績	△計画未達(1回実施)。マンパワーの課題あり。継続する。 上期：未実施、準備不足。下期：1月9日実施100人超参加。
(2)	事業6 (市民活動)	計画	当会の活動を、伝える 神奈川の市民活動フェアに合わせ報告会など検討する。
		実績	◎計画通り実施した。継続する。 3月12日、13日の2日間実施した。延べ110人がご来場。
4. 維持管理			
(1)	維持管理	計画	年に3回、浜通り1回、中通り2回、行政・社協・地元団体訪問 地元との繋がりの維持に、地元を訪問する。
		実績	○概ね計画通り実施した。繋がり作りは今後の課題。 講演会依頼・会議参加等を含め、7回訪問を行った。

(補足) 2016.8.3に有志活動として「復興バー@銀座」美味しいふくしま伝え隊を初企画  
 ふくしまの美味しいを伝えた。継続して行きたい。



## 5. 事業実績詳細

### (1) 事業 1 ボラバス

#### ①現地課題

発災から 5 年、避難指示解除準備区域などの解除の動きが出てくる、南相馬市小高区もその一つであり、4 年住むことのできなかつた家々は傷み、その家屋などの片付けなどはまだまだ行き届いていない。

#### ②活動目的

純粋なボランティアとして、家屋などの片付けのお手伝いをする。  
 復興の形にも色々ある。一つに、被災された方の心の復興も大事である。

#### ③活動結果

- ・活動は、概ね毎月一便の計画は実施できた。参加者数的には 15 人から 17 人とリピーターを含めてボランティアバスの定員に達し運行が出来てきた。
- ・現地環境は平成 28 年 4 月の解除に向け調整が進められている、解除に向け、帰還するしないはそれぞれの方の判断、その中で必要とすることに応じて行きたい。
- ・ニーズの多くは、家屋内の片付けから庭木の伐採など環境面で改善が主にある。
- ・立ち会われる依頼者からは、常に感謝の言葉をいただく。これからも継続する。

#### ④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	南相馬ボラバス毎月 1 便 (6 便)	4, 5, 6, 8, 9 月実施	5 回
下期	南相馬ボラバス毎月 1 便 (5 便)	10.11.12.2.3 月実施	5 回

#### ⑤予算実績 (単位: 円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	2,534,400	1,938,500	旅費交通費	3,460,500	2,616,604
繰越金 (寄付)	98,476	98,476	(バス代, リカー代, 仮眠所代, 高速代, 他)		
新規寄付	210,000	210,000	振込手数料	2,376	1,944
新規助成金 (要調達)	420,000	441,000	支払寄付金	-	11,934
新規支援金 (要調達)	200,000	215,000	次年度繰越	-	272,494
合計	3,462,876	2,902,976	合計	3,462,876	2,902,976

(補足) 参加費は、一人 12,800 円 (バス代充当)

#### ⑥参加者の声 (一部抜粋)

- ・活動と共に、小高の現況を知る機会 (少しづつでも) があるので参考になります。南相馬の事をもっと知りたいと思い、個人的にも訪問してみたいと言う想いが出ています。
- ・大変なことは十分わかっていますが、受入れ先の体制が整った際には南相馬市以外にもボランティア参加したいです。
- ・出来るだけ長く福島を見守りたいので出来る限りボラバスの運営を続けていただきたい。





## (2) 事業 2 仮設訪問

### ①現地課題

応急仮設住宅、広域避難者（見なし仮設に同じ）も復興住宅・避難指示解除準備区域の解除の動きと合わせて歪みが出てくる。現地で関わり続けて行かないと見えなくなる。（仮設の空き家、仮設の集約、残る方の不安、移る方の不安、自治会の維持、新たなコミュニティ作り、高齢化、諦め、孤独、従前からの悔しさ、など）

### ②活動目的

応急仮設住宅を訪問し、少しですが、交流を図り、仮設に住まわれている方に寄り添う。仮設に住む方の課題を知り、関わり続ける。

### ③活動結果

- ・本宮市、福島市の応急仮設住宅に訪問、一斉に仮設自治会長の交代があった、自治会運営維持の難しさを感じた。若い世代が離れ、ご年配だけになり、仮設住宅の見回りすらできなくなる環境、仮設内でも被災地の環境・ご出身地の違いもあり、難しい。
- ・川内村の応急仮設、川内村に入ってのお手伝いをさせていただいた、今後どのようなつながりを作ることが出来るか、既に解除の町、これから解除されていく町。現地の訪問は継続して行く必要がある。
- ・積極的な活動は出来ていない。現地との繋がりを模索して行く。

### ④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	2回、日程は調整し進める	7月(福島、本宮の2か所)	1回
下期	2回、日程は調整し進める	10月(川内村)	1回

### ⑤予算実績（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	192,000	46,200	旅費交通費	339,200	32,870
繰越金（寄付）	79,605	79,605	（高速代,宿泊代,ガソリン代,他）		
繰越金（会費）	107,595	107,595	雑費	40,000	
新規寄付（要調達）	0		支払寄付金	-	1,330
	0	0	諸会費	-	12,000
	0	0	次年度繰越	-	187,200
合計	379,200	233,400	合計	379,200	233,400

（補足）活動は、相乗り2台代、参加者8名、参加費は、一人6,000円（全て実費分）

### ⑥参加者の声

川内村訪問時に、福島未来学（福島大学COC推進室）の地域コーディネーターと繋がりが持てた、世代は変わって行くのかも知れ合いが、現地と関わる団体との接点をもて、また情報もいただくことが出来た。

個人宅の草刈、片付け、児童館の草刈などの手伝いもさせていただいた、一過性にならず、継続の繋がりを築いていきたい。



### (3) 事業3 視察研修

#### ①現地課題

被災当時の現地、現地の方の話を知らない、現地の状況も4年経過し変わっていく。  
 記録・知る観点からも、視察・研修を行い、伝える必要がある。

#### ②活動目的

視察研修を行い、その時、今、これからを知る  
 そして、写真・映像、参加者の研修報告として記録する。

#### ③活動結果

平成27年度より新たな活動として、現地の視察研修を年2回実施した。  
 目的は、ボランティアとして福島に関わる私達の中でも、被災当時の現地、現地の方の話を知らない方が多く。それを知る、広く伝えること。

#### ④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	1回、帰宅困難区域町	4月：富岡町	1回
下期	1回、同、他	10月：大熊町	1回

#### ⑤活動予算 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	600,000	450,200	旅費交通費	515,064	410,827
繰越金 (寄付)	0		雑費	42,000	15,811
繰越金 (会費)	0		保険料	8,000	2,397
新規寄付	0	2,084	印刷費	21,000	0
新規会費	0		予備費	13,936	0
新規助成金	0		消耗品費		5,252
新規支援金	0		支払手数料		432
	0		次年度繰越		10,000
合計	600,000	452,284	合計	600,000	452,284

(補足) 参加費は、一人15,000円 (全てバス代、宿泊先代、資料代、保険料、等実費分)

#### ⑥参加者・現地の声

・今回は視察研修に参加させていただき、富岡町、夜ノ森の桜のトンネルの中を歩きました。本来なら満開の桜を見る人達で賑わっていたはずなのに、今は見る人も少なく寂しい、くやしい。富岡の人達の気持ちにまだまだ近づけない、何もできていない自分に気づいた。桜の花はとても綺麗でした。タイベックスを着ないで見に来られる時が早く来るといいのに、と思いました。

・大熊町の復興に向けての息吹を感じた。廃炉まで30年から40年を要するし、いたるところに山積みされたトン袋の中間置場も全量決定したわけでもないが、ようやく出来るところから出来ることをやっていくことが可能になったのだと思う。私にとっては見慣れた光景の再現だけではなかった。



(4) 事業 4 県内支援

①現地課題

避難者自らのコミュニティ作りが未だできていない。  
 今後の変動により、さらにバラバラになっていく懸念、なにも無かった様に収束していく懸念がある。主体は、避難者の方である、支えていく必要がある。

②活動目的

避難者自らのコミュニティ作り／コミュニティの仕組み作り、ふるさととの繋がり、時には課題発信などを通じて、応援し支えていく。

③活動結果

活動は、当会活動を進める中であり、活動日程も重複し、連携は十分ではなかった。避難されている方が必要とすること、声を聴くことはまだまだ十分ではない。企画に流されずに、地に足の着いた活動を見守って行きたい、また連携して行きたい。

④活動実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	町別、地域、ふるコミなど	実施内容はあゆむ会 HP 参照	

⑤活動予算 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金 (寄付)	0		会場費	10,000	0
繰越金 (会費)	40,000	40,000	雑費	20,000	2,584
新規寄付 (要調達)	0		緒会費	10,000	5,000
新規会費 (要調達)	0		消耗品費	-	6,798
新規助成金	0		旅費交通費	-	10,000
新規支援金	0		次年度繰越	-	15,618
合計	40,000	40,000	合計	40,000	40,000

(補足) 諸会費は、あゆむ会への kfop 団体年会費。

⑥参加者・避難者の声

- ・課題 1、避難者の方の声が未だ十分に聞くことが出来ていない
- ・課題 2、企画、企画に翻弄され、課題 1 への余力を持っていない
- ・課題 3、住宅支援等の終了が今後も続いていく、住宅への不安は大きいものと思う
- ・課題 4、自立、一方的な自立ではなく、自らも動いて行き、生きて行く活力へ

平成 29 年に向け、避難指示の解除が行われていく、現時点でも仮設から復興住宅へ移動による仮設住宅に残られた方の不安。今後は帰還する方、定住する方、まだまだ考えることが出来ない方、自主避難と区別されてしまった方々など、避難元町の動き、避難先自治体の 5 年を一つの区切りとする支援の打ち切り、避難されている方々の一層の高齢化、孤立化、ますます環境が厳しくなる。

その中にあり、楽しく集える場は必要、その上で、避難されている方の声を聴き、寄り添っていくことが大事であろう。



(5) 事業5 講演会

①現地課題

HPで活動の様子を伝えているが、ほんの僅かな発信でしかなく不十分。  
 地元の方をお呼びし、地元の方の声で伝えることも必要。

②活動目的

講演会などを行い、福島の前地の方の言葉、声で、伝えていく。

③活動結果

福島の前地を伝える事業の一環として、講演会・意見交換会を企画、開催した。  
 今回、テーマとして、2016年4月に避難指示解除を目指す南相馬市小高区に焦点を当て、  
 前地の状況と今後の課題について情報を共有し、参加者それぞれに「自分にできること」  
 を考えるヒントを持ち帰っていただくことを目指した。

このような規模での講演会開催は初めてであり、終始手探りの状態でしたが、多くのご協力をいただき無事に終了することができた。またさまざまなバックグラウンド、立場の方々にご参加いただき、有意義な意見交換ができた。

④活動実績

上下	計画	実績	
			回数
上期	1回、日程など調整し進める	なし	-
下期	1回、日程など調整し進める	1月実施：県サポホール	1回

⑤予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費 (資料代)	30,000		旅費交通費	128,000	89,680
繰越金 (寄付)	0		印刷費	30,000	7,460
繰越金 (会費)	127,197	127,197	通信運搬費	-	1,005
新規寄付 (要調達)	803	803	消耗品費	-	32,332
新規会費 (要調達)	0		支払手数料	-	270
新規助成金	0		諸会費	-	10,000
新規支援金	0	37,730	雑費	-	8,370
	0	0	次年度繰越	-	16,613
合計	158,000	165,730	合計	158,000	

(補足) 旅費交通費は、講演者の旅費・宿泊費の実費分

⑥参加者・来場者の声

第一部の講演では、100人を超える方が集まった。質疑もあり、南相馬の今を少しですが知って頂いたと思います。

第二部の意見交換会も、約60の方が残られ、各テーブルごとにテーマをだし、お話しをしていただきました。

神奈川に置いて、大規模では無いながらも今後も継続発信をして行きたい。



(6) 事業 6 市民活動

①現地課題

当会自身の活動の紹介ができていない。機会があれば、神奈川県の市民活動フェアなどを通して、少しではあるが伝えていく。

②活動目的

当会自身の活動の紹介。福島に関わる活動を紹介し、福島の応援者を広げる。

③活動結果

当会の活動紹介により情報発信を行うとともに、福島県の生産者の商品を紹介し販売することを目的として「市民活動フェア 2016」に参加し、新しい事業の3つ目とした。市民活動フェアは、かながわ県民活動サポートセンターを活動場所として利用しているボランティア団体をはじめ、多くの市民活動団体、グループなどが一同に集い、出会いや交流を通して、更なる活動の発展を促進していくことを目的とした催しで、1997年から(2011を除き)毎年開催されている催しである。

実行委員会の発表では、フェア全体で 3/12(土)は 1,758人、3/13(日)は 1,578人、合計 3,336人の来場者があった。

④活動実績

上下	計画	実績	
			回数
上期	なし	なし	-
下期	1回、3月	3月12日-13日に実施	1回

⑤予算実績(単位:円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費(資料代)	0		印刷費	25,000	27,300
繰越金(寄付)	0		支払負担金	2,000	2,000
繰越金(会費)	27,000	27,000	消耗費	(仕入)	89,339
新規寄付	0	18,000	支払手数料	-	270
新規会費	0		雑費	-	8,370
その他	(売上)	88,820	次年度繰越	-	14,911
合計	27,000	133,820	合計	27,000	133,820

⑥参加者・来場者の声

- ・ 出展場所: 10階ボランティアサロン(オープンタイプ、大ブース)
- ・ タイトル: まだまだ「福島応援」～これからできる、続けられる応援とは～
- ・ ブース来場者数: 3/12(土) 58人、3/13(日) 52人、延べ 110人
- ・ スタッフ: 3/11(金) 設営 10人、3/12(土) 10人、3/13(日) 10人、延べ 30人
- ・ 取扱商品数: 244個

次年度も、継続して行きたい。



(7) 維持管理

①維持管理課題

現地訪問による、人との繋がり維持は必要。  
 行政、社協、地元支援団体など。

②維持管理目的

現地を訪問し、人との繋がり維持を図る  
 現地状況の情報の交換も図る。

③実施結果

講演会、現地との繋がり作りなどで訪問は行えたが、継続しての訪問は十分に出来ておらず、次年度の課題として、継続して行く。

運営としては人的要因、資金面でぎりぎりの所である、あゆむ会の活動との日程の重複、別々な訪問など非効率面も見られる。それぞれの活動があり致し方ないが、協力し合えるところは協力し、マンパワー含め効率的な活動をして行きたいものである。

④維持管理実績

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	1回、南相馬・浜通り	7月：8か所訪問	2回
下期	2回、中通りの町、被災町	9月：11か所訪問 10月：小高、川内村訪問 2月：双葉町訪問 3月：双葉郡未来会議	5回

⑤維持管理予算実績 (単位：円)

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金 (寄付)	0		旅費交通費	110,400	96,830
繰越金 (会費)			雑費	18,297	32,325
新規寄付	91,397	431,644	通信費	10,800	6,262
新規会費	80,000	72,000	消耗品費	18,900	0
新規支援金	0	7,200	印刷費	13,000	27,324
受取利息	0	125	支払手数料	-	702
	0	0	次年度繰越	-	347,526
合計	171,397	510,969	合計	171,397	510,969

⑥結果

- ・運営自体は問題なく実施出来た。
- ・活動資金面も、当会として必要とする支援をなんとか頂くことが出来た。
- ・参加者面に置いては、固定化傾向にある、まだまだ福島を知らない方は多くある
- ・5年目を一つの区切りにする動きがあるが福島はまだまだこれからである。



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

(8) 事業会計実績

①活動計算書

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop) 平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日まで (単位:円)						
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費						
正会員受取会費	80,000	72,000	80,000	72,000		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	302,200	644,531				
受取寄付金(目的)	200,000	277,930	502,200	922,461		
3. 受取助成金等						
受取民間助成金1	210,000	210,000				
受取民間助成金2	210,000	231,000	420,000	441,000		
4. 事業収益						
事業1収益	2,534,400	1,938,500				
事業2収益	192,000	46,200				
事業3収益	600,000	450,200				
事業4収益	0	0				
事業5収益	30,000	0				
事業6収益	0	88,820	3,356,400	2,523,720		
5. その他収益						
受取利息	0	125	0	125		
<b>経常収益計</b>					4,358,600	3,959,306
<b>II 経常費用</b>						
1. 事業費						
(1) 人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2) その他経費						
事業支払負担金	2,000	2,000				
事業印刷製本費	76,000	34,300				
事業会議費	10,000	0				
事業旅費交通費	4,441,900	3,159,981				
事業通信運搬費	0	1,255				
事業消耗品費	0	133,749				
事業保険料	8,000	2,397				
事業支払手数料	3,240	3,078				
事業支払寄付金	0	20,829				
事業諸会費	10,000	27,000				
事業雑費	115,936	26,737				
<b>その他経費計</b>	4,667,076	3,411,326				
<b>事業費計</b>			4,667,076	3,411,326		
2. 管理費						
(1) 人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2) その他経費						
管理支払負担金	0	0				
管理印刷製本費	13,000	27,342				
管理会議費	0	0				
管理旅費交通費	110,400	96,830				
管理通信運搬費	10,800	6,012				
管理消耗品費	18,900	442				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	540				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	0	0				
管理雑費	18,297	32,325				
<b>その他経費計</b>	171,397	163,491				
<b>管理費計</b>			171,397	163,491		
<b>経常費用計</b>					4,838,473	3,574,817
当期正味財産増減額					-479,873	384,489
前期繰越正味財産額					479,873	479,873
<b>次期繰越正味財産額</b>					0	864,362
					(2016年3月31日現在)	



②貸借対照表

**貸借対照表**



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	536,663	
横浜BK寄付口	355,299	
仮払金	0	
流動資産合計		891,962
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		891,962
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
仮受金	27,600	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		27,600
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		27,600
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		479,873
当期正味財産増減額		384,489
正味財産合計		864,362
負債及び正味財産合計		891,962

(2016年3月31日現在)





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

③財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

( 会計期間 : 平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日まで )

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。

資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債型(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	事業1 ボラバス	事業2 仮設訪問	事業3 視察研修	事業4 県内支援	事業5 講演会	事業6 市民活動	事業 部門計	維持管理	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	72,000	72,000
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
※2. 受取寄付金(新規)	210,000	0	2,084	0	803	0	212,887	431,644	644,531
【事業計画】	210,000	0	0	0	803	0	210,803	91,397	302,200
※3. 受取助成金等	441,000	0	0	0	0	0	441,000	0	441,000
【事業計画】	420,000	0	0	0	0	0	420,000	0	420,000
※4. 受取目的寄付等	215,000	0	0	0	37,730	18,000	270,730	7,200	277,930
【事業計画】	200,000	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	1,938,500	46,200	450,200	0	0	0	2,434,900	0	2,434,900
【事業計画】	2,534,400	192,000	600,000	0	30,000	0	3,356,400	0	3,356,400
※6. 前期繰越金(寄付)	98,476	79,605	0	0	0	0	178,081	0	178,081
7. 前期繰越金(会費)	0	107,595	0	40,000	127,197	27,000	301,792	0	301,792
8. その他収益	0	0	0	0	0	88,820	88,820	125	88,945
経常収益計	2,902,976	233,400	452,284	40,000	165,730	133,820	3,928,210	510,969	4,439,179
【事業計画計】	3,462,876	379,200	600,000	40,000	158,000	27,000	4,667,076	171,397	4,838,473
<b>II 経常費用</b>									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	7,460	27,300	34,760	27,324	62,084
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	2,616,604	32,870	410,827	10,000	89,680	0	3,159,981	96,830	3,256,811
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	1,005	0	1,005	6,262	7,267
消耗品費	0	0	5,252	6,798	32,332	89,339	133,721	0	133,721
保険料	0	0	2,397	0	0	0	2,397	0	2,397
支払手数料	1,944	0	432	0	270	270	2,916	702	3,618
支払寄付金	11,934	1,330	7,565	0	0	0	20,829	0	20,829
諸会費	0	12,000	0	5,000	10,000	0	27,000	0	27,000
支払負担金	0	0	0	0	0	2,000	2,000	0	2,000
雑費	0	0	15,811	2,584	8,370	0	26,765	32,325	59,090
その他経費計	2,630,482	46,200	442,284	24,382	149,117	118,909	3,411,374	163,443	3,574,817
経常費用計	2,630,482	46,200	442,284	24,382	149,117	118,909	3,411,374	163,443	3,574,817
当期経常増減額	272,494	187,200	10,000	15,618	16,613	14,911	516,836	347,526	864,362

(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 使途等が制限された寄付等の内訳

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
写真アルバム用目的寄付	0	7,200	7,200	0	(維持管理) 活動写真の保存用共有アルバム2年間費用専用寄付
第16次赤い羽根助成金	0	210,000	210,000	0	(事業1の助成金) 南相馬ボランティアバス(4月、5月、6月の3便用)目的助成金
第18次赤い羽根助成金	0	231,000	231,000	0	(事業1の助成金)≪2016.1月決定通知受領≫ 南相馬ボランティアバス(9月~12月の4便用)目的助成金
azbil みつばち倶楽部	0	200,000	200,000	0	(事業1の寄付金) 南相馬ボランティアバス(12月、2月、3月の3便用)目的助成金
富士ゼロックス 富士ゼロックス 端数倶楽部	0	100,000	0	100,000	(維持管理)※別途事業へ振替 端数倶楽部50,000円/富士ゼロックス50,000円
初参加者へ寄付	0	15,000	0	15,000	(事業1の目的別寄付) 初参加者へ寄付
合計	0	763,200	648,200	115,000	

(2016年3月31日現在)



## 6. 役員・スタッフ

### (1) 役員・スタッフ

役割	区分	氏名	担当役割
代表	役員	渡辺 孝彦	兼務 (会計、渉外、事務、視察、あゆむ会)
広報	役員	東 尚子	兼務 (県内支援、仮設担当、あゆむ会広報)
バス	役員	戸沢 正弘	バス運営 (現地活動リーダー)
情報	役員	村上 幸	情報収集
相談役	役員	御園生 芳行 <sup>※4</sup>	相談事項、講演会、会計監査、赤い羽根
スタッフ	非役員	22名	バス支援、県内支援の全てを行う

※4：途中退任

### (2) H27年度末会員状況 (2016.3.31時点)

区分		総人数	女性数	男性数
正会員	0/A	69名(▲6)	29名(▲1)	40名(▲5)
一般会員	1	101名(+8)	36名(+2)	65名(+6)
賛助会員	2	1名(+1)	0名(0)	1名(+1)
登録メンバー	9	101名(+12)	47名(+7)	54名(+5)
合計		272名 (+15)	112名(+8)	160名(+7)

(補足) ()内は H27 年度増減数

## 7. 各便の参加者状況

(単位：人)

便名	実施日	参加者数	女性数	男性数
福島 48 便 (視察研修 1 号)	2015.04.11 (土) -12 (日)	20	8	12
福島 49 便 (南相馬 22 号)	2015.04.24 (金) -25 (土)	19	6	13
福島 50 便 (南相馬 23 号)	2015.05.22 (金) -23 (土)	16	4	12
福島 51 便 (南相馬 24 号)	2015.06.26 (金) -27 (土)	15	7	8
福島 52 便 (南相馬 2x 号)	2015.07.24 (金) -25 (土)	欠便	-	-
福島 53 便 (南相馬 25 号)	2015.08.07 (金) -08 (土)	17	6	11
福島 54 便 (南相馬 26 号)	2015.09.11 (金) -12 (土)	17	7	10
福島 55 便 (南相馬 27 号)	2015.10.09 (金) -10 (土)	11	4	7
川内村有志便	2015.10.17 (土) -18 (日)	6	1	5
福島 56 便 (視察研修 2 号)	2015.10.24 (土) -25 (日)	17	7	10
福島 57 便 (南相馬 28 号)	2015.11.27 (金) -28 (土)	17	7	10
福島 58 便 (南相馬 29 号)	2015.12.11 (金) -12 (土)	18	7	11
福島 59 便 (南相馬 30 号)	2016.02.26 (金) -27 (土)	15	7	8
福島 60 便 (南相馬 31 号)	2016.03.25 (金) -26 (土)	15	4	11
13 便(内 2 便は視察研修便)		203	75	128

(参考) 女性参加率 59%



## 8. 平成 27 年度（2015 年度）総括

### （1）現地活動

- ①南相馬市小高区での屋外活動を継続し、毎月一便を計画とし概ね実施出来た。
- ②現地のニーズは変わりなくある、活動については地元の調整があり、受入れに基づき活動に参加させていただいている。
- ③依頼者の方は、今なおどうしたら良いかと困っていたなどの声を聴く。地元に住む私達ではないが、まだまだ地元の方々の先が見いだせていないことを実感する。
- ④南相馬に置いては平成 28 年度に避難指示解除を目指す、同様に平成 29 年度に向け帰還困難区域を除き避難指示解除が進んでいくであろう。
- ⑤動きの情報をつかみ、必要とされること、福島が必要とすることを継続して行く。

### （2）県内支援

- ①住宅支援の終了の動き、自主避難の方、避難指示解除されていく町の方、平成 29 年に向けさらなる環境の変化が避難されている方への大きな不安となって行く。
- ②今なお、誰がどこにいるか分からない、避難されている方の高齢化、定住化、帰還か、またまだまだ考えられない、それぞれの方の声を聴き、必要とされること、出来ることのお手伝いをしていきたい。
- ③企画にとらわれず、避難されている方々が自ら進んでいくことも必要、支えとなりながら見守る必要がある。

### （3）情報発信

平成 27 年度は、新たな事業を 3 つ展開した

1 つ目として、「視察研修」、避難自治体の視察研修を 4 月に富岡町、10 月に大熊町を実施した。

現地に行き、現地を見、現地の声を聴き、その中で、復興への強い想いを感じた。参加者が見て、聞いて、感じたことを報告書とし町へのフィードバックも行った。

2 つ目として、「講演会」、活動させていただいている、南相馬市小高区の方をお迎えし、神奈川で講演会及び参加された方々と意見交換会を実施した。神奈川、近県から福島へ行き活動するボランティアの方も多く参加された。押し付けることではなく、それぞれが出来ること、僅かな時間ではあったが、少し持ち帰っていただけたと思う。

2 つ目として、「市民活動フェア」参加、長年出来ていなかったことのひとつ、当会の活動の紹介と福島で頑張っている方の商品を紹介し販売。神奈川で福島で活動している団体があるんだ、そうですね、多くの方は知らない、本の少しの方にはですが、知っていただけた。

そして、福島で頑張っている方の商品は完売したことは、多くの方に関心を持っていただいたものと思います。

2016 年度も福島の元気に！、福島の笑顔に！

2016 年 3 月 31 日  
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
代表 渡辺孝彦／スタッフ一同



### Ⅲ. 2016年度活動計画(平成28年度)

#### 1. 福島の問題

2016年3月11日は東日本大震災から5年目である。

5年目を一つの区切りとして、避難元自治体、避難先自治体、そして支援者も大きく変わって行く部分がある。福島は変わらずに、これからである、と思う。

当会として、長期的観点、2016年度の活動を10の事業とし進める。

#### 2. 活動方針

私達はボランティアである。

- ・活動できる場所であることの判断(安全判断)
- ・活動する上で必要とする知識(安全知識)
- ・活動する上での現地受け入れ団体の長との情報交換(安全の担保)

を行い、活動を進める。

また、現地との情報交換も行い、現地のニーズにて活動を進める。

活動の為のニーズ作りは行わない。ただし、現地との関わりは長く続けていきたい。

#### 3. 活動目的

##### (1) 現地活動

直接現地に行き、現地が必要とすることのお手伝いをする。

神奈川に居ては分からないことが沢山ある、福島に行き福島を知り、当会は活動を続けていく。

##### (2) 県内支援

神奈川に避難されている方々に神奈川の団体と協力し寄り添っていく。

また、広域は避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

##### (3) 情報発信

避難区域の今を、現地に行き福島に関わるものとして知って活動を行う。

大規模では無くても現地の方を招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝える

また、当会自身の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えて行く。

##### (4) 災害復旧支援

災害ボランティア団体として、自然災害等大規模災害が発生した時、災害復旧支援を行えることを事業として明確にした。

##### (5) 維持管理

現地を訪問(行政・社協・地元の団体)し、繋がりを維持する。



#### 4. 全体事業計画（概要）

福島活動の3つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を中心とし10の事業とし、以下に活動（事業詳細）を行う。

事業詳細	計画	
事業1：現地活動 （ボラバス）	計画	毎月1便（除く5月,10月,1月）、参加者（定員）19名／各南相馬市小高区で継続活動を行う。
事業2：現地活動 （広域活動）	計画	4回／年計画、参加者（定員）6名／各自家用車等による応急仮設住宅の訪問や現地ニーズ活動を行う。
事業3：県内活動 （連携避難者支援）	計画	神奈川県を拠点として活動する他団体と連携し、主に神奈川県内に避難されている方を対象とする交流会の共催、運営協力を行う。
事業4：県内活動 （広域避難者支援）	計画	関東の避難者グループや支援団体が集まる支援者会議などへの出席を行い、広域支援を行う。
事業5：情報発信 （視察研修）	計画	年に2回、参加者20名／各避難区域の自治体を訪問する。参加者報告を情報発信に活用する。
事業6：情報発信 （講演会等）	計画	年に2回、参加者40~60人／各福島から講師を招き会員の参加を促し一般の方へのPRも行う。
事業7：情報発信 （出展情報発信）	計画	市民活動フェアなど費用対効果が見込めるイベントへの参加を通じて、活動紹介や現地の特産品の紹介などを行う。
事業8：情報発信 （HP情報発信）	計画	現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。
事業9：災害復旧支援 （災害緊急対応）	計画	国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応できる予算計画を明文化した。
事業10：維持管理 （現地訪問等）	計画	現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問を適宜実施する。



(補足文)

2016.4.1

### ◇2016 年度事業計画

活動の 3 つの柱である直接活動（福島県内での活動）、県内活動（神奈川県内での活動）、情報発信を 10 の事業に分けて計画を立てている。

#### 事業 1：現地活動（ボランティアバス）

ボランティアバスでの現地活動は、今年度 9 回の運行を計画しています。10 月までは南相馬市小高区での活動を予定する。

#### 事業 2：現地活動（ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）

応急仮設住宅の訪問や現地でのニーズ発生に応じて、事業 1 以外で自家用車や公共交通機関を利用した現地活動を見込む。

#### 事業 3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）

神奈川県を拠点として活動する他団体と連携して、主に神奈川県内に避難されている方を対象とする交流会の共催、運営協力を予定する。

#### 事業 4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）

事業 3 以外にも関東の避難者グループや支援団体が集まる支援者会議などへの出席を計画する。

#### 事業 5：情報発信（視察研修）

主に避難区域の自治体を訪問先とする現地視察研修を年 2 回実施する計画で調整を進める。視察研修の参加者の報告をまとめ報告書とし情報発信に活用する。

#### 事業 6：情報発信（講演会等）

福島から講師を招いて直接お話を聞く機会を設ける。年 2 回実施する計画で調整を進め、総会や懇親会と同日開催することで会員の参加を促すほか、一般の方への PR も行う。

#### 事業 7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）

市民活動フェアなど費用対効果が見込めるイベントへの参加を通じて、活動紹介や現地の特産品の紹介などを行う。

#### 事業 8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）

現地の観光情報や物産情報を発信し、さまざまな形での福島応援を促す。

#### 事業 9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）

国内で大規模な自然災害等が発生した場合に災害復旧支援に対応できる予算計画を明文化した。実際の活動については状況に応じて決定する。

#### 事業 10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）

現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問を適宜実施する。

#### その他

有志活動として「美味しいふくしま伝え隊」として、福島の美味しいものを伝えて行く活動を続ける。

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)



5. 事業詳細

(1) 事業1：現地活動（ボランティアバス）

①現地課題

南相馬市は平成28年度の避難解除を進めている、その中で地元での家屋内外での必要とされるニーズは多くある。必要とされる中、2016年度も継続してお手伝いをして行く。

高齢の方、避難している中、当事者だけでは片付けは出来ない、福島に軸を置き、復旧・復興へ出来ることのお手伝いを継続して行く。 【課題1】

②活動目的

南相馬市小高区の復旧へ家屋内外の片付けなどお手伝いをして行く

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	南相馬ボラバス毎月1便（5便）		
下期	南相馬ボラバス毎月1便（4便）		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費（バス代）	1,728,000		旅費交通費	2,524,068	
参加費（初参加者）	352,800		（バス代,リカー代,仮眠所代,高速代,他）		
繰越金（寄付）	130,212		支払手数料	1,944	
繰越金（目的寄付）	115,000		-	-	
新規寄付（目的寄付）	200,000		-	-	
合計	2,526,012		合計	2,526,012	

（補足）参加費は、一人12,800円（バス代充当）／初参加者は9,800円



(2) 事業2：現地活動（ボランティアバス以外の自家用車等による広域活動）

①現地課題

平成29年度の6年目に向け、避難指示解除が進んでいく、今まで人が入れなかった町、所、国が直轄で復旧に当たってきた。

今後、地元自治体、民間の動きが出てくるであろう、当会として町域観点も視野にいれ、地元の方々との繋がりを作り、維持し、必要とされること、復旧・復興のへお手伝いをして行く。 【課題2】

②活動目的

区域を特定せず、福島全域での活動、係わりを続ける、今後の避難区域解除の動きもあり、必要とすることのお手伝いをして行く。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	3回、日程は調整し進める		
下期	3回、日程は調整し進める		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	384,000		旅費交通費	384,000	
繰越金（会費）	100,000		(高速代,宿泊代,ガソリン代,他)		
新規会費	100,000		旅費(打合せ用)	200,000	
合計	584,000		合計	584,000	

(補足) 相乗り2台、参加者6名、参加費は一人8,000円、宿泊費8,000円(実費)





(3) 事業3：県内活動（他団体との連携による避難者支援）

①現地課題

神奈川県に避難されている方の支援を継続する。5年が経ち環境は変わらず、悪化と混乱がさらに続くことが予見され、避難されている方々の声に耳を傾け、地道に寄り添い、共に進んでいくことが大事な時期となり、福島と神奈川を繋ぐ当会として引き続き協力して行く。

また、当事者の方々が自主的に動いて行かれることも願う。

【課題3】

②活動目的

あゆむ会の活動と共催・協力し、神奈川に避難されている方々に寄り添っていく。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	ふるさとコミュニティinかながわ(共催)		
	町別交流会(協力)		
	各地区支援団体間交流事業(全般)(協力)		
	支援団体交流事業 (全般)(協力)		
	全般(協力)		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	30,000		諸会費	10,000	
			雑費	20,000	
合計	30,000		合計	30,000	

(補足) 諸会費：あゆむ会団体会員会費



(4) 事業4：県内活動（広域避難者支援に関わる交流会や会議等への出席）

①現地課題

5年を節目とし、住宅支援の打ち切り、平成29年度の避難指示解除の動きに伴う様々な課題がさらに続く、情報の把握は必要である。

広域支援の視野に立ち、情報の収集、避難者支援団体等の会議へ参加など、福島に関わるものとして、視野を広げ関わって行く。 【課題4】

②活動目的

広域な避難者情報を把握し、福島全体の動きをつかみ、広域な避難者支援を行う。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
通期	年3回、会議等出席する		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費）	100,000		旅費交通費	120,000	
新規会費（要調達）	20,000				
合計	120,000		合計	120,000	



(5) 事業5：情報発信（視察研修）

①現地課題

現地をまだまだ知らないところがある、また神奈川に伝えて行かないとならない。

今までの活動の繋がりを活かし、浜通り地区の視察研修を町の協力もいただき。①東日本大震災と原発事故の『風化』をさせない。②地元の現状、今を『正しく知る・伝える』。③自分達に出来ることを『考える』を継続する。次年度は既に解除地域を進める。

【課題5】

②活動目的

避難区域の今を、現地に行き福島に関わるものとして知って活動を行う。

③活動計画

上下	計画	実績	
		実施日	回数
上期	5月（双葉町視察研修）		
下期	10月（浪江町視察研修）		

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	764,000		旅費交通費	853,800	
繰越金（寄付）	28,587		印刷費	20,000	
繰越金（会費）			保険料	8,000	
新規寄付（要調達）	89,645		支払手数料	432	
新規会費（要調達）	0		-	-	
新規助成金	0		-	-	
新規支援金	0		-	-	
合計	882,232		合計	882,232	

（補足）旅費交通費は、バス・高速・宿泊代等



(6) 事業6：情報発信（講演会等）

①現地課題

神奈川から多くのボランティアが福島に足を運んでいる、まだまだ、神奈川県内への情報発信は当会としては十分に出来ていない。

2015年度に初めて大規模な講演会及び意見交換会を実施した。パワーの限界も含め小規模な講演会も有効であり、可能な中で福島の方を招き、神奈川に発信を継続して行く。

【課題6】

②活動目的

大規模では無くても現地の方を招きミニ講演会などを継続し、神奈川に福島を伝える

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
				回数
上期	1回			
下期	1回			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（会費）	162,557		旅費交通費	212,000	
新規寄付	101,443		印刷費	12,000	
			会場費	20,000	
			雑費	20,000	
合計	264,000		合計	264,000	



(7) 事業7：情報発信（イベント出展等を通じた情報発信）

①現地課題

当会の存在は、神奈川にもまだまだ知られない存在である。福島を発信するとともに当会の活動も知って頂き、そこから福島へと繋がって欲しい。そして福島で頑張っている方々の商品なども紹介し、一人でも多くの方に関心を持ち続けていただく。かながわ県民センターで開催される市民活動フェアを活用し、発信していく。【課題7】

また、有志活動として、「美味しいふくしま伝え隊」2015年度に初めての日マスターとして出店、福島のおいしいもの、伝えて行く。

②活動目的

当会自身の活動も伝え、そして福島で頑張っている方の商品も紹介し福島を伝えて行く。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
			回数	
通期	1回実施			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	0		印刷費	3,000	
繰越金（会費）	50,000		雑費	50,000	
新規寄付	60,000		支払負担金	2,000	
新規会費			送料	5,000	
新規助成金			旅費交通費	50,000	
新規支援金			-	-	
合計	110,000		合計	110,000	

(8) 事業8：情報発信（ホームページを通じた情報発信）

①現地課題

観光情報を含めて、福島を広く広報することも必要、季節ごと、目的ごと様々な情報を定期的に発信し、一度行って見ようかな、に繋がる発信を継続して行く。

「あいばせ福島」会津の方言で、気軽に「さあ、行きませんか」という意味です。

気軽に福島へ、さあ、行ってみませんか。を続ける。

【課題8】

②活動目的

福島の色々なことを定期的に発信していく。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
			回数	
通期	都度（月に一度情報発信）			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
特になし			なし		
合計	0		合計	0	



(9) 事業9：災害復旧支援（国内での災害発生時の緊急対応）

①現地課題

2015年度に台風18号等大雨による大規模な災害が発生した、当会も災害ボランティア団体である。その活動を明確にし、必要とすること。出来ることの活動を行う。

新たに、ではなく。活動を明確にし進める。

【課題9】

②活動目的

当会は災害ボランティア団体である、自然災害等大規模災害の復旧支援を行うことを明確にし活動を進める。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
			回数	
通期	1回実施			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
参加費	200,000		旅費交通費	200,000	
合計	200,000		合計	200,000	



(10) 事業10：維持管理（現地訪問、打ち合わせ等）

①現地課題

福島 of 各市町村、社協、民間団体等と連携する上で、地元との繋がり維持は大切である定期的な訪問を行い、関係の維持に努める。

また、現地でないとは分からない情報も共有させていただき、活動へ活かしていく。

【課題10】

②活動目的

現地を訪問（行政・社協・地元の団体）し、繋がり維持する。

③活動計画

上下	計画	実績	実績	
				回数
通期	年3回（最低）			

④活動予算（単位：円）

収入			支出		
項目	計画予算	実績	項目	計画予算	実績
繰越金（寄付）	51,500		旅費交通費	180,000	
繰越金（会費）	96,506		印刷費	3,000	
新規寄付	45,194		通信費	6,000	
新規会費	20,000		諸会費	1,200	
新規助成金			消耗品費	3,000	
新規支援金			雑費	20,000	
合計	213,200		合計	213,200	





かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

(11) 事業合計

①活動計算書



活動計算書

かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額					
	計画 金額(小計)	実績 金額(小計)	計画 金額(中計)	実績 金額(中計)	計画 金額(合計)	実績 金額(合計)
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費						
正会員受取会費	120,000	0	120,000	0		
2. 受取寄付金						
受取寄付金(一般)	316,282	0				
受取寄付金(目的)	200,000	0	516,282	0		
3. 受取助成金等						
受取民間助成金1		0				
受取民間助成金2		0	0	0		
4. 事業収益						
事業1収益	2,080,800	0				
事業2収益	384,000	0				
事業3収益	0	0				
事業4収益	0	0				
事業5収益	764,000	0				
事業6収益	0	0				
事業7収益	0	0				
事業8収益	0	0				
事業9収益	200,000	0				
維持収益	0	0	3,428,800	0		
5. その他収益						
受取利息		0	0	0		
<b>経常収益計</b>					4,065,082	0
<b>II 経常費用</b>						
1. 事業費						
(1)人件費	0	0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
事業支払負担金	2,000	0				
事業印刷製本費	35,000	0				
事業会議費	20,000	0				
事業旅費交通費	4,543,868	0				
事業通信運搬費	5,000	0				
事業消耗品費	0	0				
事業保険料	8,000	0				
事業支払手数料	2,376	0				
事業支払寄付金	0	0				
事業諸会費	10,000	0				
事業雑費	90,000	0				
<b>その他経費計</b>	4,716,244	0				
<b>事業費計</b>			4,716,244	0		
2. 管理費						
(1)人件費		0				
人件費計	0	0				
(2)その他経費						
管理支払負担金		0				
管理印刷製本費	3,000	0				
管理会議費	0	0				
管理旅費交通費	180,000	0				
管理通信運搬費	6,000	0				
管理消耗品費	3,000	0				
管理保険料	0	0				
管理支払手数料	0	0				
管理支払寄付金	0	0				
管理諸会費	1,200	0				
管理雑費	20,000	0				
<b>その他経費計</b>	213,200	0				
<b>管理費計</b>			213,200	0		
<b>経常費用計</b>					4,929,444	0
<b>当期正味財産増減額</b>					-864,362	0
<b>前期繰越正味財産額</b>					864,362	864,362
<b>次期繰越正味財産額</b>					0	864,362

(2016年4月1日現在)



②貸借対照表

**貸借対照表**



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
1. 流動資産		
横浜BK会費口	891,962	
横浜BK寄付口	0	
仮払金	0	
流動資産合計		891,962
2. 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		891,962
<b>II 負債の部</b>		
1. 流動負債		
仮受金	27,600	
前受金	0	
未払金	0	
流動負債合計		27,600
2. 固定負債		
役員借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		27,600
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		864,362
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		864,362
負債及び正味財産合計		891,962

(2016年4月1日現在)



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

③財務諸表の注記

財務諸表の注記



かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)

(会計期間：2016年4月1日～2017年3月31日まで)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。  
 資産は、口座預金(会費口、寄付口)のみ、固定資産なし。借入等の負債類(前受、仮受を除く)

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科目	事業1 ボラバス	事業2 現地広域	事業3 あゆむ会	事業4 県内広域	事業5 視察研修	事業6 講演会	事業7 市民活動	事業8 あいばせ	事業9 災害対応	事業 部門計	維持管理	合計
<b>I 経常収益</b>												
1. 受取会費(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	20,000	120,000
※2. 受取寄付金(新規)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	20,000	89,645	101,443	80,000	0	0	271,088	45,194	316,282
※3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
※4. 受取目的寄付等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
5. 事業収益(参加費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【事業計画】	2,080,800	384,000	0	0	784,000	0	0	0	200,000	3,428,800	0	3,428,800
※6. 前期繰越金(寄付)	130,212	0	30,000	0	28,587	0	0	0	0	188,799	51,500	240,299
7. 前期繰越金(目的)	115,000	0	0	0	0	0	0	0	0	115,000	0	115,000
8. 前期繰越金(会費)	0	100,000	0	100,000	0	162,557	50,000	0	0	412,557	95,506	509,063
9. その他収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	245,212	100,000	30,000	100,000	28,587	162,557	50,000	0	0	716,356	148,006	864,362
【事業計画計】	2,528,012	584,000	30,000	120,000	882,232	264,000	110,000	0	200,000	4,716,244	213,200	4,929,444
<b>II 経常費用</b>												
(1)人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)その他経費												
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	245,212	100,000	30,000	100,000	28,587	162,557	50,000	0	0	716,356	148,006	864,362

(※表示項目の金額は寄付口から会費口(事業用口座)へ振替額または予定額を示す。)

3. 用途等が制限された寄付等の内訳

内容	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高	備考
富士ゼロックス増数倶楽部	100,000	0	0	100,000	(維持管理)※別途事業へ振替
富士ゼロックス					増数倶楽部50,000円/富士ゼロックス50,000円
初参加者へ寄付	15,000	0	0	15,000	(事業1の目的別寄付) 初参加者へ寄付
未定	0	0	0	0	(事業1の寄付金) 南相馬ボランティアバスの目的支援金
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
	0	0	0	0	
合計	115,000	0	0	115,000	

(2016年4月1日現在)



## 6. 役員・スタッフ

### (1) 役員・スタッフ

区分	役割	氏名	兼務等		
役員	代表	渡辺 孝彦	重任	兼 会計、渉外、あゆむ会副理事長	
	広報	東 尚子	重任		
			戸沢 正弘	重任	兼 会計監査
			村上 幸	重任	
			私市 慎治	再任	
			長崎 羊子	新任	
スタッフ	全体支援	22名	継続	全てについて可能な活動支援を行う。	

### (2) 事業担当

事業	事業名	担当名
事業1	ボラバス担当	戸沢正弘、長崎羊子
事業2	現地広域担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業3	あゆむ会担当	渡辺孝彦
事業4	県内広域担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業5	視察研修担当	渡辺孝彦、東 尚子
事業6	講演会等担当	東 尚子、渡辺孝彦
事業7	市民活動担当	村上 幸、東 尚子
事業8	あいばせ福島担当	私市慎治、村上 幸
事業9	災害復旧支援担当	戸沢正弘、村上 幸
事業10	維持管理	渡辺孝彦、東 尚子
(関連事業)	美味しいふくしま伝え隊	村上 幸、東 尚子

### (3) 2016年度末会員状況 (2016.5.5.時点)

(単位：人)

区分		総人数	女性数	男性数
正会員	0/A	54名(▲15)	20名(▲9)	34名(▲6)
一般会員	1	108名(+7)	36名(±0)	72名(+7)
賛助会員	2	6名(+5)	3名(+3)	3名(+2)
登録メンバー	9	110名(+9)	56名(+9)	54名(±0)
合計		278名(+6)	112名(+3)	163名(+3)

(補足) ()内は H28 年度増減数



## 7. 最後に

当会は、2016年度も粛々と活動を進めます。

一つに、長期的に関わることを前提とし、福島の方々との繋がりも模索し進める。

現在置かれている環境は、福島の皆様の想いではなく、そうさせられてしまったもの

- ・ 同じ県内での分断（浜通り、中通り、会津地方、町、ご近所、ご家族・・・）
- ・ 県内と県外での分断（福島県と他県・・・）
- ・ 県外での分断（強制避難・自主避難・・・）

違う想いではなく、同じ想いへ進みたいと思います。

また、神奈川県内に避難を余儀なくされている皆様にも寄り添い、少しでもお手伝いさせていただければ、の想いです。

福島の元気に！

福島の笑顔に！

私達は、いつか心から笑える日が来ることを願い、参加者と活動を続けていきます。

福島の応援を続けます、これからもよろしくお願ひします。

2016年4月1日

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

代表 渡辺孝彦／スタッフ一同



### Ⅲ. 補足資料

#### 1. 活動の様子（詳細）

HPをご参照ください。

【 <http://kfop.jimdo.com/活動様子/> 】



かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)  
 ≪2015年度(H27)活動実績・2016年度(H28)活動計画≫

2. 活動日程 (計画、一部抜粋、状況により変更もあります。)

2016年度(H28年度)-kfop

4月							5月							6月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	9	10	11	12	13	14	15	6	7	8	9	10	11	12
					96	訪	訪					97						68便ハス		
11	12	13	14	15	16	17	16	17	18	19	20	21	22	13	14	15	16	17	18	19
✕																		63便ハス		
18	19	20	21	22	23	24	23	24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26
				61便ハス							62研双葉					98・講・総・懇↑				
25	26	27	28	29	30	1	30	31						27	28	29	30			
7月							8月							9月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
					98	訪					100							101	訪	
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
懇					99									問						
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
↑美:仮					野馬追						65便ハス						66便ハス			
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		
				64便ハス																
10月							11月							12月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	31	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
					102						103						69便ハス			
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
																			104	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
					67研浪江						68便ハス									
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31	
1月							2月							3月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1	30	31	1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
											106						107・市民↑活動↑			
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
				105・講・懇↑																
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
											70便ハス						71便ハス			
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		

＜凡例＞ XX(数字のみ): 定例会(土曜日15:00~18:00、県サポ11Fパートナーシップルーム)  
 XX便ハス: ポラバス、XX便相乗: 相乗便 XX研: 視察研修便 訪: 現地訪問  
 (ボランティアは前月初(1日)に募集を開始する。視察便は前々月初。)  
 総: 総会 懇: 懇親会・懇労会(予定) 講: 講演会







保護ページ